

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PERSONAL新大阪校				公表日	2026年 2月 19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・個別課題の際にはパーテーションで区切っている。 ・半個室が作れる点が良いと思います。 ・状況に応じて空間を区切ることができる。	運動スペースが限られているため、安全に取り組めるよう、今後もプログラムの工夫を行っていきます。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	怪我など安全に配慮しながら運営を行っています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	個室があり、体調が悪いお子さんなどがいた場合に部屋を変えるなどができています。	トイレは空間が狭く扉も重いので、指づめなどの事故が起こらないよう、引き続きスタッフが付き添いながら安全対策を講じていきます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	パーテーションで区切って分けることができている。 利用した後は必ず掃除をしている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		必要に応じて個別ブースを設けるなど、お子さま一人ひとりに合わせた空間づくりを大切にしています。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	しっかり情報共有を行うことを心掛けています。	困りごとがあった際には職員全員で共有し、よりよい対応を一緒に考える機会を今後も大切にします。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		話し合いを行い、すぐに改善できることはその都度対応していきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日ミーティングで情報共有ができています。	支援の前にはミーティングを行い、情報共有と振り返りを行っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	会社として毎月、カリキュラム研修や外部研修が組み込まれています。	今後も、より参加しやすい環境づくりを検討していきます。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	公表することができています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	個別支援計画に基づいてアセスメントや支援を毎回行っています。	保護者様と一緒に振り返りを行いながら、専門的な視点を大切に支援を今後も継続していきます。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	全員で意見を出し合い、作成することができています。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画書に基づいて個別プログラムを考えることができています。	計画に基づいた記録を行っていますが、内容の質をより均一にできるよう、職員のスキル向上に努めています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	設定をした上で作成を行っている。	地域支援・地域連携については、自治体と連携方法を確認しながら、より積極的に取り組んでいきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	小集団プログラムは担当だけでなく、チームで考えることができます。	プログラム立案において職員間のスキル差があるため、全体の底上げを図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	固定化が必要な場面もあるが、お子さんの発達段階や課題に合わせて行っています。	支援の固定化が必要な場合と、柔軟性が必要な場合について、保護者様と共有する機会を大切にしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	朝のミーティングで事前に打ち合わせをしている。	運動・個別・小集団をバランスよく実施していますが、利用人数が少ない場合の実施方法についても工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	できた点、難しかった点などを共有して意見交換している。毎日支援内容やお子さんの様子を共有している。	打ち合わせに参加できなかった職員への共有方法についても、より確実に伝わる体制を検討していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	個別支援計画の目標達成のために打ち合わせや次の課題を洗い出している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録の徹底を行い、毎回記録ができていますかダブルチェックを行っている。	記録内容の統一化について、今後あらためて取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングを行い、見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	よく理解ができている人が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要なお家庭に対しては体制を整えている。	支援の必要性の判断については、より客観的な視点を持ちながら進めていけるよう検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		保護者様やご本人の意向を尊重しながら、丁寧な対応を継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	お子さんによってはどんな進路がいいかを保護者様と相談したり、各所と連携して支援している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	法人内で機会を作っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		療育の中でどのような形が実現可能か、引き続き検討していきます。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々の療育後に保護者の方に本日のご様子についてお伝えするようにしている。	必要な情報をその都度お伝えできる環境づくりを続けていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族 支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加 できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		事業所内でも取り組める工夫を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	5	0	全て読み上げて同意を得ている。	外国語対応やルビ表記については十分とはいえないため、今後の課題として検討していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日々の振り返りで保護者さまと共有し、お子様にとって最善の利益になるように双方のお話を聞きながら作成している。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	読み上げて同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	就学前・就学後や年度末前などの節目には面談期間を設け、丁寧な情報共有と今後の支援についての確認を行っています。	面談期間だけでなく、必要に応じて随時お話しできる機会を設けていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。	2	3	きょうだい支援についても、各ご家庭の保護者様のお話を伺いながら、気になる点については一緒に解決に向けて考えています。	今年度はまだ実施できていない取り組みについても、今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を 整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れが あった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	ご相談の申し入れには迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保 護者に対して発信しているか。	5	0	毎月マンスリーレポートを発行し、活動の様子やお知らせをお伝えしています。	取り組み内容が十分に知られていない部分があるため、周知方法を工夫していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報は鍵付きロッカーで適切に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	5	0	日頃からできるだけ直接お会いしてお話しする機会を大切にし、決定事項は書面に残して共有しています。	お伝えした内容は記録に残し、より分かりやすく伝える工夫を続けていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	4	1		地域の方向けの取り組みについても、事業所内のできる方法を検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知 するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し、発生を想定した避難訓練等を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備 え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害の発生に備えています。また、定期的に避難訓練や必要な対応訓練を実施し、緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えています。	今後は周知の方法について、さらに工夫を重ねていきます。
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	5	0	お子さまの健康状態については把握に努め、てんかんやアレルギー対応については研修・訓練を実施しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	4	1	食事提供は行っていないですが、アレルギー情報を把握しています。	状況の変化を把握するためにも、年に一度の見直しも検討していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われ ているか。	5	0	安全計画を作成し、毎月訓練を行なっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、 安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	マンスリーレポートにて周知することができます。	実施している取り組みを知らない利用者様がないよう、周知をより徹底していきます。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット発生時には、その都度、その日のうちに共有をすることができています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	全職員研修を受講し、学ぶ機会があります。	適宜セルフチェックを行い、よりよい運営につなげていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時などで説明をすることができています。	